

パソコンに飲み物をこぼした！ 万一の「事故」に備える 予防策と対処法

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、リモートワークを導入する企業が急増しました。
ただし、自宅で仕事をするといろいろと問題も起きます。そもそも仕事をする書斎のような場所がないので、リビングや台所などの狭い場所にノートパソコンを置

自宅で仕事をするケースが増えていますが、それと連動して、パソコンに飲み物をこぼす「事故」も増えていきます。その予防策と対処法を探ります。

テクニカルライター
井上 健 語



いて仕事をしている人も少なくありません。
そのせいでしょいか、「キーボードに飲み物をこぼしてしまっただ！」というトラブルが増えていきます。
精密電子機器のパソコンにとって、水は大敵です。万が一、パソ

コンの心臓部である基板が濡れてしまったら、パソコンが故障して重要なデータが失われてしまう危険性があります。

そこで本稿では、こうした事態に陥らないための「予防編」と、万が一、飲み物をこぼしてしまっただときの「緊急対応編」に分けて、対策を紹介したいと思います。

予防編

●外部キーボードを利用する

筆者は、フリーランスのライターを約30年続けています。
仕事場は、ずっと自宅です。転居等はありませんが、基本的にはいつも自宅の1室で仕事をしています。

というわけで、在宅勤務に関してはある意味「プロ」だと自負しています。そんな筆者も、これまでキーボードにコーヒーをこぼしてしまっただけは何度かあります。ただし、それでパソコンが故障して、困った経験はありません。

最大の理由は、外部キーボードを使っているからだと思っています。現在、メインで使っているのは、レノボの ThinkPad X280 というノートパソコンです。取材等で持

ち出すとき以外は、自宅で外部ディスプレイと外部キーボードを接続して使っています(写真1)。

何度か、外部キーボードにコーヒーをこぼしたことはありませんが、ティッシュで拭いて乾かせば使えています。万が一、キーボードが使えなくなっても、さほど高価なものではないので、「ダメなら買い換えればよい」くらいの感覚です。

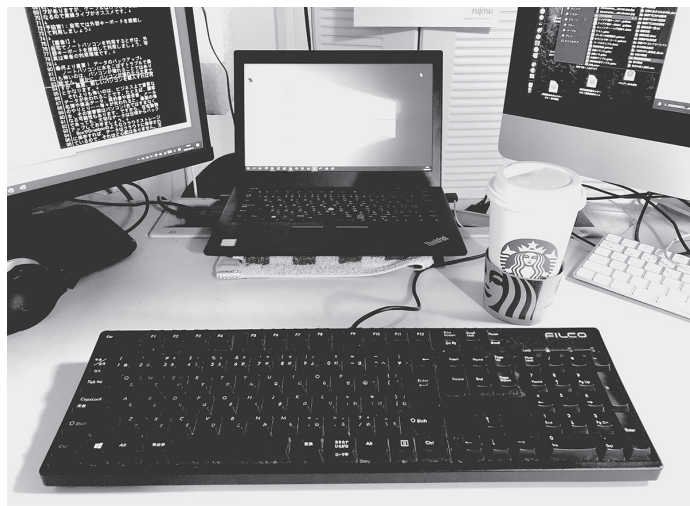
蛇足かもしれませんが、外部キーボードのほうが圧倒的に入力がラクで効率的なので、その意味でも外部キーボードをおすすめします。なお、有線のUSBタイプと無線のBluetoothタイプがありますが、ケーブルはけっこう邪魔になるので無線タイプがおすすめです。

●データのバックアップが何より重要

ノートパソコンに水をこぼすトラブルで最も怖いのは、パソコンが壊れることではありません。たしかに、パソコンが壊れたら大変ですが、最悪、新しいパソコンを購入すれば何とかなります。

それよりも怖いのは、ビジネス上で重要なデータが失われること

写真1 外部キーボードを利用する



です。

たとえば、顧客名簿や商品データ、契約書や請求書、メールのやりとり……等々が失われると、最悪の場合、その被害額はパソコン1台分では済まなくなる可能性があります。このため、在宅勤務であつても、大切なデータは日頃からバックアップしておきましょう。

大事なデータはクラウドストレージなどに保存すれば、それほど心配はありません。

万が一に備えて、外付けのハードディスク等に保存するのもよい

と思いますが、企業によつてはUSBメモリや外部ハードディスクの使用を禁止している場合もありますので、そのあたりは各企業のルールに従う必要があります。

●水に強いパソコンを選ぶ

そもそも論になりますが、ノートパソコンには水に強い製品とそうでない製品があります。

製品によつては、水に濡れることを想定して開発され、過酷な試験をパスしているものもあります。当然ですが、こうした製品を

選べば、少々の水をこぼしても故障するリスクは低くなります。

ただし、試験で使われるのは真水が多いようです。コーヒーやお酒をかける試験までは行なわれていないので、決して安心はできません。

逆に、防水対策が行なわれていないパソコンの場合は、ちょっとした水をこぼしても、故障の可能性が高くなります。

当然、水に強い製品

のほうが高価ですが、屋外で使ったり、重要なデータを扱ったりするのなら、最初から水に強い製品を選ぶほうが安心だと思います。

●キーボードカバーを利用する

最近では、キーボードを水やホコリから防ぐキーボードカバーも販売されています。

水を防ぐなら、キーボード全体を覆うシリコン素材の透明なシートが適しています。

近所の家電量販店で調べたところ、キーボード売り場の脇に、キーボードカバーの専用コーナーが設置されていました。それだけニーズがあるということでしょう。

なお、キーボードカバーには、特定の機種専用の製品と汎用的な製品があります。お手持ちのパソコンの専用キーボードカバーがある場合は、それを購入しましょう。

専用のカバーがない場合は、汎用的な製品を購入して利用します。その場合は、自分のパソコンに合わせてシートを切って貼り付ける使い方になります。

ただし、パソコン表面の素材や凹凸によつては、うまく接着できない場合もあるようなので注意してください。

緊急対応編

●基本は「拭いて、乾かす」

ここからは、ノートパソコンのキーボードに水やお茶、コーヒー等をこぼしてしまった際の対処法を説明します。

ノートパソコンの場合は、キーボードの下にはパソコンの心臓部であるCPUやメモリを搭載した基板、SSDやハードディスクなどがありますので、そこへの被害をいかに食い止めるか、最小化するかがポイントです。

◆STEP1…キーを押さないようにティッシュやタオルで優しく水分を吸収する

水やお茶、コーヒーをこぼした直後は、誰もが「あつ」と思つて、周りにあるティッシュやタオルで水分を吸わせようとするでしょう。それは正しい行動です。こぼした直後に、少しでも早く水分を取り除くことができれば、それだけ被害も小さくなります。

ただし、キーを押し込むようにゴシゴシするのはやめたほうがよいでしょう。押し込んだ箇所から水分が内部に侵入するリスクがあるからです。

写真2 キーボードを逆さにしてタオルに水分を吸収させる

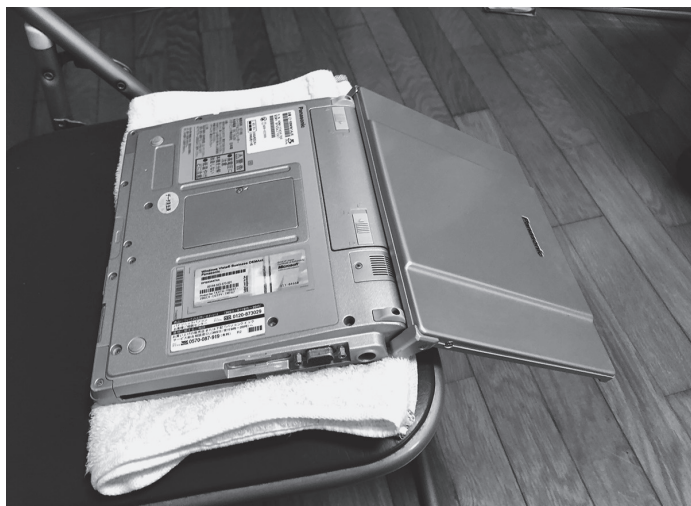


写真3 風通しのよい場所で乾かす



できれば、キーを押し込まない程度に優しく水分を取り除いてください。

◆STEP2…キーボードは使わずに電源を切る

次に、電源を切ります。ただし、キーボードは使わないでください。キーボードを使うと、操作中にショートする可能性があるからです。マウスやタッチパッドを使って、電源を落としてください。

もしも、すでに何らかの異常が発生していてうまく操作できない場合は、緊急事態ですので、電源

ボタンを長押しして、強制的に電源をオフにしてもかまいません。

◆STEP3…AC電源を抜いて、可能な場合はバッテリーを外す

AC電源で利用している場合は電源プラグを抜き、バッテリーを外せる場合は外します。これは、とにかく通電を避けるためです。

ただし、バッテリーを外すのが面倒な機種の場合は、無理をして外す必要はないと思います。

◆STEP4…キーボードを逆さにしてタオルで水分を吸収する
きれいなタオルを用意したら、

その上にキーボード面を逆さまにして置き、水分を吸収させます(写真2)。逆さまにするのは、パソコン内部に水分を侵入させないためです。

◆STEP5…根気強く乾かす

ある程度、水分を吸収させたら、あとは風通しのよい場所で乾燥させます。

急ぐなら、ドライヤー(熱風ではなく冷風で)、扇風機などを利用してもよいでしょう(写真3)。ここは根気強く、半日から1日放置するくらいがよいと思います。

なお、こぼした液体が水であれば、完全に乾かせば通常に戻る可能性は高いでしょう。

しかし、砂糖の入ったコーヒーや清涼飲料水の場合は糖分が残る、基板に悪影響を与えたり、キーボードに付着して正常に押せなくなったりする可能性があります。

糖分の入っていないお茶やブラックコーヒーの場合、それよりは正常に戻る可能性は高いと思いますが、こぼした量や場所にもよりますので、あくまで目安と考えてください。

◆STEP6…電源を入れる

十分に乾いたら、電源を入れましょう。バッテリーを外した場合は、装着したあと電源を入れてください。これで正常に起動すれば問題は解決です。

しかし、起動しなかったり、特定のキーが正常に動作しなかったりするなどの問題が発生した場合は、残念ながら、サポートに修理を依頼することになります。

なお、もしも問題がキーボードにあると判断できれば、キーボードだけを交換する方法もあります。交換用のキーボードを購入して差し替えれば、復活することもあります。

ただし、ユーザー側でキーボードを交換できない製品もありますし、自分で作業する場合、ミスでトラブルが起これば自己責任となります。したがって、電源を入れても正常に動作しない場合は、基本的にはサポートに修理を依頼したほうがよいでしょう。

このうえ、けんご 辞書の編集プロジェクトや出版社を経て、MS-DOS時代にフリーとして独立。以来、パソコンやアプリの解説書、企業取材、広告記事などを手掛ける。